

扉の陰の秘密 (1948)

SECRET BEYOND THE DOOR

メディア 映画

ジャンル サスペンス

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 98分

初公開日 1949/09/06

公開情報 セントラル

【解説】

名製作者ウェンジャーがその妻J・ベネット（彼が痴情のもつれから彼女のマネージャーを射殺した事件は有名な話）と共同で作ったダイアナ（妻の前夫との間の長女の名）・プロにおけるスリラーの一本。今回、彼女のお相手は英国の名優M・レッドグレーヴで、ハリウッド進出第一作である。NYの資産家の娘シリアはメキシコで闘牛を見るうち、ある男に熱狂的に心奪われ、自ら彼に近づく。マークと名乗る男は建築家でNYで専門誌を出していた。二人はそのまま結婚し、一旦マークはNYへ、シリアは郊外のマークの家に直行したが、初婚と信じていた彼に10歳近い男の子のあるのに驚き、彼の姉や秘書と称する怪しげな女性（B・オニール）も気に入らず、NYへ戻ろうとする。が、屋敷に秘かに再現された、世界の残虐な6つの殺人を再現した部屋のあるのに関心を持ち、開かずの7番目の部屋の合い鍵を作ると、そこは彼女の寝室と寸分違わぬ造りだった。つまり、彼は彼女を殺そうというのだ……。フロイト的な潜在意識をネタにしたニューロティック・サスペンスで、脚本はかなり弱い、唐突な開幕の映像的導きを始め、後半の暗闇の中の追走その他、ベネットとは名コンビのラングの美学の横溢は見てとれる。レッドグレーヴも好演している。

【クレジット】

監督	フリッツ・ラング	Fritz Lang
製作	ウォルター・ウェンジャー	Walter Wanger
原案	ルーファス・キング	Rufus King
脚本	シルヴィア・リチャーズ	Sylvia Richards
撮影	スタンリー・コルテス	Stanley Cortez
音楽	ミクロス・ローザ	Miklos Rozsa
出演	ジョーン・ベネット	Joan Bennett
	アン・リヴェール	Anne Revere
	バーバラ・オニール	Barbara O'Neil
	マイケル・レッドグレーヴ	Michael Redgrave
	ナタリー・シェイファー	Natalie Schafer
	ポール・キャヴァナー	Paul Cavanagh